小森川のアブラボテと産卵母貝

川内野善治

小森川では25年程前までアブラボテがやや普通に見られていました。しかし、いつの間にか簡単には見られなくなり心配していました。佐世保市レッドデータブックの作成後、市環境保全課から希少種の継続調査を受託しており、その一項目として、小森川のアブラボテと産卵母貝の調査が含まれています。
小森川の調査は平成25年度から続けており今年で3年目になります。

個人的には25年以上小森川の調査を続けていますが、アブラボテが多かった時期でも産卵母貝となるドブガイは1個体を見ただけでした。田平町の鎌田川にはアブラボテが沢山いますが、産卵母貝はマツカサガイです。このようなこともあり、果たして産卵母貝がドブガイなのか疑問でした。また、ドブガイは河川のように水の流れが速い場所より溜池やクリークなど殆ど水の流れがない場所が基本的な生息地です。

モンドリで捕獲したアブラボテ

調査を開始した平成25年度はアブラボテの成魚３・幼魚１尾をモンドリで捕獲しましたが、産卵母貝は見つけられませんでした。以前はモンドリに山ほど捕獲できたものですから、個体数が大きく減少していることは明らかです。その証拠に26年度は1尾も捕獲できませんでした。

27年度は、モンドリによる捕獲と潜水して目視で確認をする二つの方法で調査をしました。潜水調査は水深が４０㎝以上、つまり体が浮く深さがないと出来ません。水面上から水が澄んでるように見えても、水の中に入ると透明度が50㎝程しかない場合（腕を伸ばすと指先が見えない）もあり、この様なときは潜水調査の成果が出ません。特に今福橋付近は上流の飲食店の排水が未処理のまま排出されており、透明度が悪く潜水調査は不可能です。比較的透明度が高いのは板井出橋～天神橋の間です。

潜水調査は下流から上流へと行います。浅いところでは体が川底に触れ、水を濁してしまうからです。しかし、出発点に戻る際は川を下りながら調査します。潜水してまず驚いたのは魚影の濃さです。オイカワとヨシノボリ類が最も個体数が多く、ついでムギツクとカワムツです。ギンブナは以外と少ないです。希少種のカマツカやヤマトシマドジョウも点々と見られます。

見つけることが出来ないのはイトモロコです。小さくて体型が細長いので、オイカワなどから見分けが出来ないのでしょう。驚いたのは昨年アユが見られたことです。下ノ原ダムの下には魚道のない転倒堰がありますので、どうして遡上できたのか不思議です。

今では慣れましたが、突然目の前に現れる大きなコイにはビックリさせられました。外来生物ではブラックバス・ブルーギル・カムルチー（大きい）・ミシシッピーアカミミガメがいます。

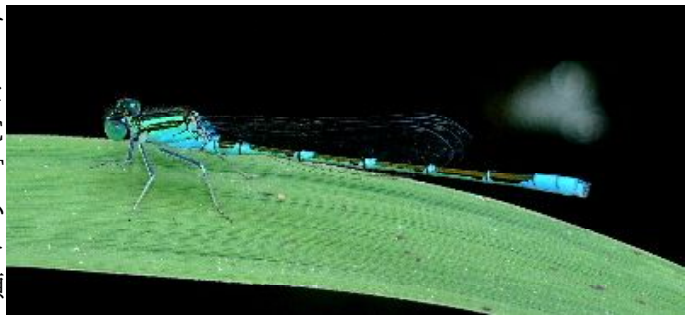
２７年度は４回の潜水調査でアブラボテを1個体ですが確認出来ました。２8年度は調査範囲を木原川まで広げました。モンドリは潜水調査には不向きな水温が低い時期に行い、梅雨が明けて水温が上がり、水量が少なく水が澄む時期に潜水調査を実施するようにしました。

7月７日の潜水調査（天神橋～新替橋）の祭に、目の前を3匹のアブラボテが横切りました。しばらく見ていましたがそれっきりでした。帰りに先ほど見た場所でアブラボテを再び見ました。今度こそは撮影しようと粘っていたら再びやってきました。そして、沈んでいるスプレー缶の向こう側に何度もやってきます。よく見るとペアです。オスは他のオスが来ると直ぐに追い払います。しばらくすると同じ所に戻って来ます。個体数はオス２個体、メス１個体の３個体のようでした。

鼻先が白い（追星）のが オス

もしや・・・と思いスプレー缶を除けると、なんと小型ですがドブガイが1個。これに産卵しようとしていたのでした。これで、産卵母貝がドブガイと言うことは分かりました。２5年以上の謎が解けた瞬間でした。

初夏はモンドリで捕獲をしますが、モンドリを仕掛けてから１時間後に回収します。この間にトンボを見ることにしています。これまでに、アオサナエ（長崎県初記録）・オナガサナエ・ヒメサナエ・ダビドサナエ等のサナエトンボ類。クロイトトンボ・セスジイトトンボ（県VU・市CR）・グンバイトンボ｛国NT・県CR・市EN（木原川～小森川）｝・ベニイトトンボ・キイトトンボ等のイトトンボ類も見られます。特にグンバイトンボは私が発見した木原町の湿地から、木原川～小森川（支流の江永川を含むみ天神橋）まで連続して生息しています。



セスジイトトンボ（♂）

小森川は平成１０年度に県の河川防災事業として、河川内に堆積した土砂の除去が行われました。澪筋にはドブガイが生息する可能性があったので、県北振興局と協議の結果当会の意見を取り入れて頂き、澪筋には一切手を付けず堆積した土砂の除去が行われました。その後板井出橋下流部で澪筋を壊すような事業が行われましたので抗議をしました。それ以来河川の土砂を除去する工事は行われていませんので、アブラ思っています。